

# 湯崎広島県知事、「成果志向の行政経営」について大いに語る～

## ～平成28年度県知事を囲んでの集い～

広島県青年中央会（会長 田口裕司）及び広島県中央会（会長 伊藤學人）は、2月1日、リーガロイヤルホテル広島にて「平成28年度県知事を囲んでの集い」を開催し、「成果志向の行政経営について～しごとの強化書～」をテーマに、湯崎英彦広島県知事より講演が行われました。

●**当日の様子** 組合青年部関係者等約60名が出席され、講演会及び懇親会が開催されました。湯崎県政7年にわたる行政内部の地道な経営改革について紹介され、青年経営者一同、経営について改めて考える良い機会となりました。

●**湯崎知事講演** 民間と行政は組織の行動原理も同じで、働いているのも同じ人間だが、民間と行政の一番大きな相違点は永続性にある。民間企業は売上を出さないと活動が続かず廃業を余儀なくされるが、行政はサービスの満足度と関係なく税金徴収できて廃業がない。「廃業の恐れ」に代わる内部規律の意識が必要である。新しい行政改革の方向性は、より成果を強く意識した行政経営（成果志向）をすることである。広島県庁で常に意識づけしている3つの視座は、「真の県民起点の徹底（カスタマーファースト）」、「現場主義」、「予算志向から成果志向への転換」である。成果とは、予算計上の大きさではなく、個人、法人問わず、県民の皆様の良い変化をもたらすことである。行政の仕事の成果として“何が変わったか”が重要であり、メディアも県民もその点に着目してほしいと考える。今後の行政経営については、戦略、組織、資源の3つの観点から、PDCAを徹底して回し、県民の皆様にとって広島という地域価値を高めるため、日本一強い県庁組織の実現を目指す。

●**組合青年部活動事例発表** 広島県電気工事工業組合青年部より、「広島県立広島工業高校での電気業界理解促進事業について」をテーマに、工業高校生対象の体験授業の取り組みや、全国団体での作業着ファッションショーの開催など紹介されました。次に、広島県東部機械金属工業協同組合東青会より、「東青会活動報告」をテーマに、組合及び東青会の取り組みや、組合員連携によるNASAへの納入事例などの取組について紹介されました。終わりに湯崎知事よりコメントがあり、青年部活動への新たな発見とこの活動へのエールを述べられました。



田口青年中央会会長



伊藤中央会会長



湯崎広島県知事



しごとの強化書



# 日系企業も注目するラオスを訪問 -平成28年度海外研修-

第15回目となる今年度の海外研修は、2月16日（木）～2月19日（日）の4日間、青年中央会会員11名でラオスの首都ビエンチャンを訪問しました。

●**現地の状況** ラオスはメコン地域の中央に位置し、5か国（中国・タイ・ベトナム・カンボジア・ミャンマー）に隣接する内陸国です。日本の本州程度の国土面積に700万人が暮らしており、近年は7～8.5%のGDP成長率で推移しています。豊富な資源と、メコン川での水力発電を主要な輸出品目としている一方、国内製造品が乏しく、自動車から日用品に至る多くの製品を輸入に頼っています。

●**JETRO（日本貿易振興機構）ビエンチャン事務所訪問** ラオスの基本情報や経済情報、日系企業進出におけるメリット、デメリットについて説明がありました。日系企業の進出はまだ多くありませんが、チャイナプラスワン・タイプラスワンとして縫製業を中心に増えてきており、特にタイは別々の公用語でも類似性が高く、ある程度の会話もでき、タイ人にラオス工場を管理させる事も可能との話がありました。非常に手先が器用な事も縫製業進出を後押ししているとのことですが、その一方で、離職率の高さなどに見える希薄な人柄と、内陸国で、インフラ整備不足による輸送コストが高い点でデメリットも多いとのことでした。

●**VITA PARK（特別経済区）訪問** タイとの国境に係る「第一友好橋」から車で20分の距離にあるVITA PARKはまだ新しく、工場建設予定地が半分以上を占めています。現在は48企業が入居又は入居を確定しており、その中には大手日系企業も含まれています。税制面では、投資額により、最大で10年間の利益税の免除の他、輸出入に係る関税も免除されます。また、100%外資の法人を立ち上げる事が可能という事もメリットとのことでした。将来的には、特区内に大学と専門学校を建設するというユニークな発想もあり、政府の企業誘致が前向きな状況にあるとのことでした。

●**ラム酒工場「LAODI」を訪問** 福山市出身者のオーナーがラオス人と共同経営しているラム酒工場「LAODI」を訪問しました。ラオスでラム酒生産に至った経緯や、ラム酒作りの製造工程について説明がありました。12ha以上ある農場で、完全無農薬のサトウキビを栽培し、それを原料にラム酒を製造しており、ラム酒の味やパッケージも福山大学と連携し改良を行った経緯もあります。今年のISC（国際・スピリッツ・チャレンジ）にも出品を予定しています。

●**今後** 青年中央会としては、海外研修事業により、青年経営者が普段得ることのできない海外での貴重な体験を得られるよう、今後も積極的に当イベントの内容の充実を図っていくこととしています。



JETRO ビエンチャン事務所での集合写真



VITAPARK での集合写真



ラオ酒（LAODI）



LAODI 製造工場を訪問